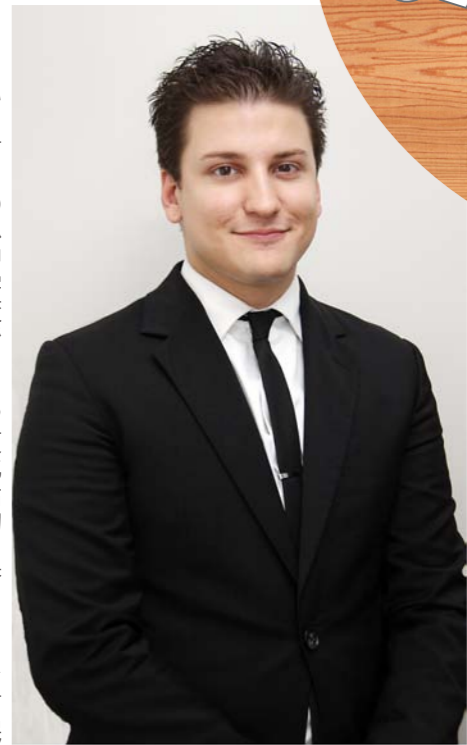


# みんなの ひろば

外国語指導助手

ダニエル・マイケル・デローロさん

アメリカの文化を伝えたい



8月から町内の小中学校で外国語指導助手として活躍するダニエル・マイケル・デローロさん（25歳）。出身はアメリカのニューヨーク州シオセツトシティ。趣味は料理や身体を動かすことで、大学時代は和太鼓部に所属していた。「近くの町でイベントが行われるたびに演舞を披露しました。夜遅くまで練習したり、練習後に宴会を開いたり、和太鼓部を通じて部員のみならず家族のように仲良くなれました。雄武町でもスポーツ

や文化活動に参加して、町民の皆さんと交流を深めていきたいです。料理をすることも好きなので、雄武の食材を使った料理がしてみたいです。機会があれば教室を開いて故郷の味を紹介してみたいですね」。

子どものころから、日本の映画や音楽、本が好きで関心があったというダニエルさん。「日本の文化や習慣について書かれた本が面白くてとても印象に残っています」と思い出を話す。

21歳の時、初めて訪れた日本に感動。「3週間ほどかけて、東京や奈良、京都に行きました。一番面白かったのは、京都で見た祇園祭りですね。浴衣を着て、たくさん踊りや音楽を楽しみました」。

自分の目で見て、触れて、感じた「日本」とアメリカで触れた「日本風」の違いを知ったダニエルさんは、「日本への情熱が燃え上がり、大学の専攻を日本の言語学と民俗学に変えました」と振り返る。

人生の転機となった日本文化との出会い。大学卒業後、日本についてさらに知りたいという願望が大きくなり、外国語指導助手として今回、来日することを選んだ。

「子どもたちとは会話を楽しみなが、本だけでは伝えられないアメリカの文化を教えたいです。授業をきっかけに外国への興味を持ってくれたらうれしいですね」と目標を話してくれた。

クローズアップ

まちのひと

おおきくなったら

～若草保育所～

## わんぱくキッズ



筋肉モリモリになりたい

みのえいしゅんくん

おひめさま

むらたのんのちゃん

トミカハイパーレスキューの隊員

みさわこうきくん

## フレッシュトーク

雄武町国民健康保険病院臨時職員 たかはし かすみ 高橋 香澄さん

仕事を通じて成長したい



昨年10月から雄武町国民健康保険病院で事務職員として勤務している高橋香澄さん（20歳）。

動物が大好きで「小犬（キヤバリア。2歳）を飼っていて休日はお散歩に行ったり、家の中で一緒に遊んだりします。お盆には旭山動物園の『夜の動物園』を見に行きました。夜行性のヒヨウやトラの動いている姿を見ることができて楽しかったです」と目を輝かせた。

地元への強い愛着から病院勤務を決めた高橋さん。「生まれ育った雄武町で働きたいという思いがとても大きかったです」と振り返る。

「働き始める前は不安もありましたが、職員の皆さんに親切にしてください、楽しく仕事に取り組んでいます。一日一日があっという間に過ぎていきますね。病院はたくさんの方が訪れる場所なので、小さい子の相手をすることや町民の方と触れ合う機会があって嬉しいです」と仕事は充実しているようだ。

「日々の業務に一生懸命取り組み、良い仕事ができるように成長したいですね」と抱負を話してくれた。

♡休日の過ごし方  
犬の散歩、買い物

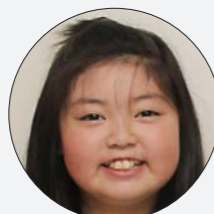
♡性格  
優柔不断

## 小さな美術館

雄武小学校



榎山 葵さん（5年）



川口 紗加さん（5年）



↑「布カーテン『虹』」



工藤 宇翔くん（5年）



三宅 大貴くん（5年）



↑「ブルーハワイかき氷（夏）」



池 慶太郎くん（6年）



→「かれは（秋）」



松本 勲武くん（6年）